

和食のグルメ村

ひなびたグルメ村をつくりたい。

日本伝統の味を地元食材を使って食べてもらう「こだわり素材の食事処」だ。自然林の中に農家を移築し、それをいくつか集合させる。

たとえば、そば屋、居酒屋、郷土料理屋、田舎料理屋、あるいは和風パブ、焼き鳥、お好み焼き、地鶏屋、寿司屋、豆腐屋など和食をベースとする。近くに窯元もあってもいい。

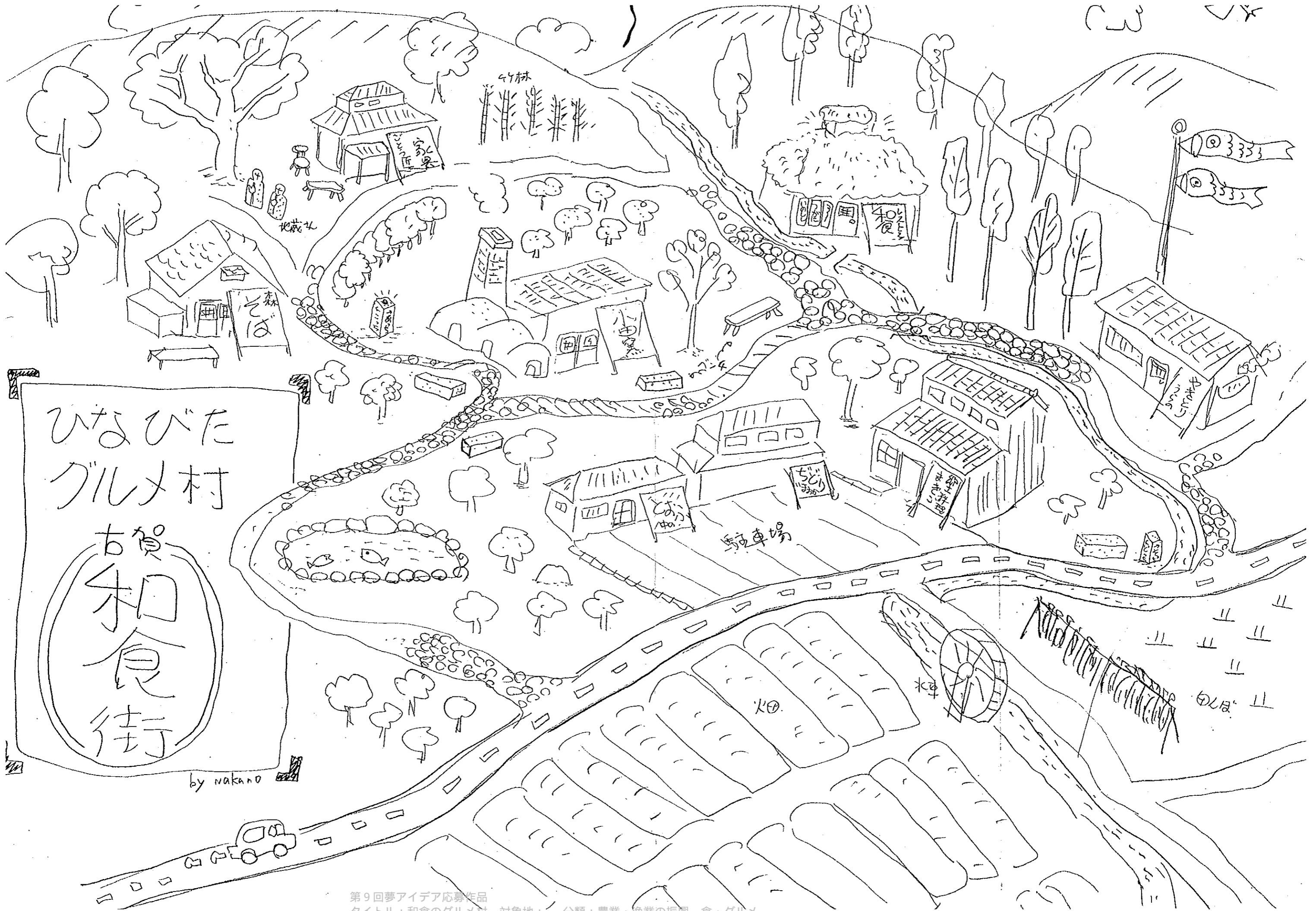
まわりにはシイ、タブ、カシ、モミジ、サクラなど北部九州の四季を彩る自然林の落ち着いたたたずまいがある。

安心・安全な食材を使い日本の風土で育った旬のものを食べる。本来の味にこだわる人が自然林の中を散策しながら、日本の良さ、誇りうる食文化を再認識する。

このグルメ村は日本人が日本を再認識する場であり、かつ、外国人観光客にも喜んでもらえる場である。まるごとメイドインジャパンの特徴を売りとして、中華街ならず、和食街を形成する。「和・洋・中・韓」なんでもありではなく、和に特化したグルメ村である。旬の食材を旬の季節に食べる。これが最高のグルメ、日本古来のグルメである。ヘルシーでた目も映える和食の良さを誇りにしたグルメ村である。

日本人はもっと自分の国や文化に誇りを持たなければならない。国際化とは外国に安易にかぶれたり、まねすることではない。相手を理解し、いいものは取り入れつつ、自国の良さを再認識することだ。自らの文化を大切にしない国は世界からも軽んじられる。

ひなびたグルメ村のような日本の風土に育てられ、どっしりと根を下ろしたスポットがもう生まれてきてもおかしくない。



第9回夢アイデア応募作品
 タイトル：和食のグルメ村、対象地：、分類：農業・漁業の振興、食・グルメ